

## 山梨県

### 1. 商品名等

商品名	ナガくね?北杜スペシャル		
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)		
	<p><b>▲ ナガくね? 北杜スペシャル</b></p> <p>直径48cm程の長〜いソーセージです。オールポークで作られており、食べる箇所によって3種類(トマト、レモン、オレンジ)の味が楽しめる斬新なマーブルソーセージとなっています。</p> <hr/> <p><b>▲ CONCEPT</b></p> <p>長く、インスタ映えがする商品で、色々な味が楽しめるものという高校生の意見から出来た商品です。北杜市名産のトマトなどが入っています。自社単独では思いつけないアイデア商品となりました。</p>		

### 2. 学校紹介

学校名	山梨県立北杜高等学校	電 話	0 5 5 1 - 2 0 - 4 0 2 5
住 所	山梨県北杜市長坂町渋沢 1007-19	F A X	0 5 5 1 - 3 2 - 3 1 9 4
担 当 者	坂井 護明・伊藤 悟・上村 洋一・渡邊 美穂・時田 崇史・河西 祥平・川崎 康洋		
U R L	<a href="http://www.hokutoh.kai.ed.jp/">http://www.hokutoh.kai.ed.jp/</a>		
E-mail	sakaim@kai.ed.jp		

本校は、大正5年4月に北巨摩郡立農学校として開校して以来、幾多の変遷を経る中で、峡北高校、峡北農業高校、須玉商業高校を統廃合し、平成13年4月に北杜高校として開校しました。今年で19年目を迎えると同時に、創立104年目となりました。

平成28年『北杜市と北杜高校との包括的連携に関する協定書』を締結。相互に連携し、地域振興と人材育成に寄与するとともに、豊かで活力ある地域社会の形成とふるさとを愛する豊かな人づくりを図り相互の発展を目指すことを目的としています。平成30年度から山梨県北杜市における『食と農』を活かした住み続けられるまちづくり推進プロジェクト」を実施。

### 3. 実施科目等

科 目 名	課題研究、現代ビジネスなど	単 位 数	4単位
対 象 生 徒	2・3年生76名	担当教員数	7名

### 4. 予算関係(費用)

北杜市と北杜高校との包括的連携協定事業の取り組みの一つとして「山梨県北杜市における『食と農』を活かした住み続けられるまちづくり推進プロジェクト」内の予算で実施。

## 5. 開発経緯等

# 食杜北杜

*Let's enjoy taste of Hokuto*

北杜高校生76人とつくった  
美味しいもの10選

*Hokuto Hight School  
and  
10 food companies in Hokuto*

# 食杜北杜

*Hokuto Hight School and 10 food companies in Hokuto*

### 北杜高校生76人とつくった、美味しいもの10選

食杜北杜は、「山梨県北杜市における『食と農』を活かした住み続けられるまちづくり推進プロジェクト」の一環として、山梨県立北杜高等学校の総合学科(総合情報ビジネス系列2年生、情報ビジネス系列3年生)の生徒76名と、北杜市内の10事業者が共同で商品開発を行った、北杜の美味しさが詰まったブランドです。

高校生の自由な発想と、地元素材を知り尽くしたプロの技のコラボレーションで誕生した魅力たっぷりの商品をぜひお楽しみください。



人口: 47,081人  
面積: 602.48km<sup>2</sup>  
※平成31年1月1日現在

最終ページでは  
北杜の4つの日本一を  
ご紹介しております

**「山梨県北杜市における『食と農』を活かした住み続けられるまちづくり推進プロジェクト」とは?**

山梨県立北杜高等学校、北杜市、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部が連携し、高校生と市内事業者による魅力ある地域資源を活かした共同商品の開発、同商品の都内プロモーション・地元常設販売を行っています。

また、本プロジェクトは、次世代を担う高校生に、地域のすばらしさを再認識してもらい、住み続けられるまちづくりなどにつなげる、SDGsの開発目標を視野に入れた取り組みでもあります。

## 6. 販売形態・期間

有  
・  
無



定期的な催事での販売。(使用原材料に期間制限があるため)

## 7. 協力者等

有  
・  
無

**関東食品工業株式会社**  
1968年創業以来、こだわり続けた製法でベーコン・ハム・ソーセージを製造販売しており、多くのホテルやレストランで採用いただいています。

北杜市白州町白須6807  
Tel 0551-35-2927  
ham86ham.shop-pro.jp

## 8. 商標登録の有無

有  
・  
無

企業により検討。

## 9. 今後の課題・展望等

常設的な販売店の協力と積極的な県内外での催事販売。